

はじめに**第 1 章 関西広域連合の実績と課題****I 関西とは**

- 1 関西ということ
- 2 関西の特徴
 - (1) 自然環境、歴史、文化
 - (2) 研究・教育、人材育成
 - (3) 産業
 - (4) 住民生活

II 関西広域連合の設立経緯**III 関西広域連合の 8 年間の取組—分権型社会の実現に向けて—**

- 1 現在の組織体制
- 2 7 分野の取組
 - (1) 広域防災
 - (2) 広域観光・文化・スポーツ振興
 - ① 観光振興・文化振興
 - ア 観光振興
 - イ 文化振興
 - ② スポーツ振興
 - (3) 広域産業振興
 - ① 広域産業振興
 - ② 広域農林水産業振興
 - (4) 広域医療
 - (5) 広域環境保全
 - (6) 資格試験・免許等
 - (7) 広域職員研修
- 3 その他の事務
 - (1) 権限移管の推進と政府関係機関移転促進の取組
 - (2) 横断的広域課題への取組
 - ① 琵琶湖・淀川流域対策
 - ② 特区事業の展開
 - ③ エネルギー政策の推進
 - (3) 関西経済界等との国家的プロジェクトの推進
 - ① 北陸新幹線などの広域インフラ整備

- ② ワールドマスターズゲームズ2021 関西
- ③ 2025 日本万国博覧会
- (4) 関西の各主体と連携した取組
 - ① 関西観光本部
 - ② 関西健康・医療創生会議
 - ③ 関西女性活躍推進フォーラム
 - ④ 関西SDGs プラットフォーム

IV 関西をめぐるこれからの情勢変化

- 1 世界・日本の中の関西
- 2 関西における人口構成の変化
- 3 関西の自治体の状況

V 関西広域連合の課題

- 1 地域ガバナンス力を高めるために
- 2 国の事務・権限の移管や国の中枢機能の移転を進めるために
- 3 日本・関西を元気にするために

VI 関西広域連合の強化・進化にあたって堅持すべき視点

- 1 8年間の実績を活かした「関西」にふさわしいもの（関西広域連合を進化させたもの）
- 2 地方自治の理念を実現するもの（地方自治体であること）
- 3 二重行政ではなく、府県とともに広域行政の役割が発揮できるもの（府県存置であること）
- 4 国との役割が明確となり、それぞれが最大限の機能を発揮できるもの（国と地方を通じた我が国の統治機構の一端を担うもの）

第2章 関西広域連合の更なる強化

I 強化した関西広域連合の姿

II 内部ガバナンス

- 1 関西広域連合の求心力の強化
 - (1) 関西広域連合委員会の強化
 - ◇輪番制による委員会議長の設置
 - (2) 実務責任者等の活用
 - (3) 関西広域連合議会の政策提案機能の強化
 - (4) 関西広域連合の附属機関の活性化
- 2 事務やその執行のあり方
 - (1) 分野・執行体制の見直し
 - (2) 情報発信力の強化などによる認知度の向上
- 3 財源
 - (1) 構成府県市の負担金（拠出金）の確保

- (2) 手数料等の受益者負担の確保
- (3) 国の補助金等の活用

4 人員

- (1) 関西広域連合の人員体制強化
- (2) 経済界等からの人材派遣

III 外部ガバナンス

1 国や国の出先機関等との関係

- (1) 国の出先機関の関西広域連合委員会等への参画
- (2) 地方行政連絡会議の活用
- (3) 経済産業局、地方整備局、近畿運輸局等国の出先機関との事務連携・協力
- (4) 関西に関係する国の計画策定への参画
- (5) 圏域の政府関係機関との連携
- (6) 地方自治法に基づく国に対する権限移管の要請権の行使

2 さまざまな主体との連携

- (1) 関西経済界との連携強化
- (2) アドホック（臨時的・専門的）な組織の活用
◇関西版フラウンホーファーの実現
- (3) 全国知事会や近畿ブロック知事会との連携

第3章 関西広域連合の進化

I 進化した関西広域連合の姿

II 内部ガバナンス

1 政治的調整力の強化

- (1) 関西選出参議院議員の関西広域連合議員への兼職

2 財源及び人員

- (1) 国からの応分の負担
- (2) 受益者による負担や関係者による協賛

III 外部ガバナンス

1 国や国の出先機関との関係

- (1) 国との計画協定
- (2) 類似・重複事務の協働

2 地方の発展、行政需要に適切に対応するための法的裏付けの整備

- (1) 条例への立法委任
- (2) 関西広域連合から国への法律提案権

第4章 関西広域連合の将来像

おわりに ～実現に向けて～